

あざみ苑 1号館

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	5	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の一つである「社会的な生活を続けていく」ということを大切に、利用者が地域と関わりを持てるよう、地域行事に参加したり近所のスーパーや美容室へ行ったり、散歩なども積極的に行いながら支援している。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関やリビングに理念を掲示し、職員が理念を共有して業務に取り組んでいる。また、管理者は職員1人1人の意見や思いを尊重し、職員が生き生きと働いて、利用者も共に楽しく過ごせるような環境作りに取り組んでいる。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	苑だよりや手紙を通し、地域行事の報告や利用者様の近況等を伝えている。また、家族会や地域推進運営会議の際に、苑での取り組みや利用者様の暮らしぶりなどを伝えている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の保育園との交流会や小学校・中学校の職場体験の受け入れを行っている。子供会とのクリスマス会も毎年の恒例行事になっている。	0	
	5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所のカフェに職員と利用者が一緒に出掛けたり町内を散歩する等して、利用者が地域で関わっていると感じてもらえるよう取り組んでいる。	1	4年前から地域の町内会に入り、回覧板などを通して地域の行事や情報等を把握しながら、若宮校区との交流を大切にしてきたことで現在の良い関係があると思っている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合いの	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	厚生省が推進している「認知症サポーター100万人キャラバンメイト」の養成講座を職員が受講し、実際に公民館にて地域の人々を対象に「サポーター養成講座」を開催し、高齢社会に貢献できるように取り組んでいる。	1	今後は教育機関や企業などにも幅広く養成講座を開催したいと思っている。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をし、外部評価を受けることでケアの見直し、質の向上につなげて行くと理解している。評価結果は全職員で確認し、会議の時に改善策を話し合い、質の向上に努めている。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、町内会長・民生委員・子供会会長・地域包括支援センター職員・家族などに参加していただいている。要望や意見などは次の会議の時にどのように改善したか報告し、サービス向上に活かしている。また、認知症の勉強会などを行い運営推進会議を活かした取り組みをしている。	0	
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター職員に2ヶ月に1度の運営推進会議に参加していただき、いろいろな情報を得ながら提供するサービスの向上に努めている。	1	今後、推進運営会議で様々な高齢者に向けてのサービスを説明していただけるような機会を設けようと思っている。
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれを活用できるよう支援している	制度に関する研修へ一部の職員が参加し研修報告は行ったものの、全職員が完全に周知するまでには至っていない。	1	今後も制度についての研修にはどんどん参加させ、どの職員も制度についての説明が出来る様取り組みたい。
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員が利用する休憩室・トイレに、介護に対する日々の心得や自分を振り返れるような掲示物を貼っている。また、介護保険課からの通知には全職員が目を通し、他施設での高齢者虐待や事故の記事は話題にしている。管理者は職員が相談しやすくストレスを溜めないような職場作りを心掛けている。	1	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族としっかり向き合い、心の中の悩み、希望する事等時間をかけて聴くようにしている。利用者本人の情報は入居前に関わりが深かった介護支援専門員や担当看護師等からなるべく詳しい情報を得るようにしている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、苦情等はその都度聴くようにしている。また、玄関に「御意見箱」を設置し、利用者の家族も利用できるようにしている。	0	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、家族宛に送る苑だよりに日々の生活やイベントの様子の写真を載せている。また、担当スタッフからの手紙で、日常生活の事について報告している。健康状態については主治医からの診療情報提供書や現在飲んでいる薬の情報を同封している。また、お預かりしている現金と金銭出納帳は月に1回必ず確認していただいている。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に意見や苦情を表に出し易い雰囲気作りに努めている。意見や苦情は議事録で全職員が内容を把握し、改善策を検討している。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスで業務の見直しやケアのより良い方法等を話し合い、意見の交換をしている。管理者は意見や提案をしやすい職場環境を作れるよう心掛けている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況に応じて勤務時間の変更や調整を行っている。その際、家庭環境により勤務時間の変更が難しい場合は強制せず柔軟に対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	イベントがある際は2ユニット合同で行い、全職員が顔なじみの関係を作れるよう努めている。職員の離職・入職時は管理者等が利用者の反応を感じ取り、見守りながら利用者へのダメージを防ぐようにしている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	0
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用時は年齢・性別で制限せず、やる気や適性を重視している。また、職員一人一人の経験や特技等を發揮できる職場である。資格取得を目指す職員に対しては勤務調整等を行い支援している。	0	
		20 外部 評価 12	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	生活保護を受給している利用者もいるが、特別扱いせず他利用者と同じように接している。	0	
		21 外部 評価 13	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修案内は全職員に提示し参加希望者を募ったり皆で話し合っている。また、研修に参加した職員は報告書を提出し、全職員が情報を共有している。	0	
		22 外部 評価 14	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の勉強会に積極的に参加し、他事業所を見学や情報交換等を通じてより良いサービスを提供出来る様取り組んでいる。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレスが溜まらないよう、管理者はいつも話が聞ける体制を整えている。どんな職員でも平等に話ができる機会を作っている。休憩・休日は休息が取れ、リフレッシュできるような協力体制がある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の個性を大切にしたい業務ができるように努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25 <b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が苑での生活で望んでいる事、不安な事を聞き、安心して入居できるよう支援している。	0		
		26 <b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に面談を重ね、生活歴や困っている事等を十分に聞くようにしている。また、入居後も家族へこまめに状況を伝え、安心していただけるように努めている。	0		
		27 <b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望を聞き、当苑でどこまでのサービスを提供出来るか充分説明している。	0		
		28 <b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に家族同伴で本人にも来苑していただき、苑内の見学・面談を充分したうえで納得して入居につなげられるよう努めている。入居後は安心して生活できるよう、職員が環境作りをし、あせらずに少しずつなじめるように支援している。	0		
		29 <b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は常に利用者の心に寄り添い、人生の先輩である利用者から学ぶ姿勢を忘れずに、日常の関わりの中で互いにねぎらいの言葉やお礼の言葉を掛け合いながら信頼しあえる関係づくりに努めている。	0		
	2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0	
	係り2 継続 これ 新たな 関係 づく りへの 支援 開く	29 外部 評価 16				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は入居前、また入居後の家族と利用者の関係を熟知しながら双方の様々な思いに寄り添い、話し合いの場を持ちながらお互いの関係を大切にしている	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時等に職員から積極的に利用者の苑での生活状況を詳しく伝えている。また、なかなか面会に來れない家族には電話や手紙等で関係性が希薄にならぬよう状況を伝えるようにしている。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	常に苑を開放的にし、なじみの関係である家族・友人・知人等からの面会・電話・手紙等を積極的に受け入れ、なじみの関係が途絶えぬよう支援している。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者個々により認知症の周辺症状やADLのレベルに差があるため、共同生活の中でも個別ケアの重要性を忘れずに、職員が利用者同士の関わりのパイプラインを担っている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も季節ごとに手紙を送ったり、継続的な関わりを必要とする家族には出来る限り協力している。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	0	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		利用者の思いや生活のリズムを本人本位で詳細に把握しながらサポートしている。また、職員で対応できない事は家族にも積極的に協力を仰いでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から生活歴やフェイスシートの情報を提供していただき、担当者会議等で全職員が意見を出し合い、情報の周知に努めている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	食事時間や入浴の時間など、共同生活における大まかなスケジュールはあるが、基本的に一人一人の生活リズムの流れを尊重してマイペースに過ごせるように支援している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的な担当者会議の開催や、必要に応じてのケアカンファレンスにホームドクターにも参加していただきながら、本人・家族から傾聴した思いや情報を共有し介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な担当者会議を行い、本人・家族の意向を取り入れながら適時現状に応じた計画を作成している。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録は客観的に多岐にわたって個々に記入し、利用者の生活史という意識を常に持ち介護計画作成時の材料になるようにしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームの特色である、多岐にわたるサービスの提供を基軸に本人や家族の状況に応じて可能な限り要望に応じていけるよう取り組んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	校区内の小学校や中学校などの職場体験や生涯学習を積極的に受け入れている。また、月に1回のボランティアの受け入れや総合避難訓練時には消防署員の参加を要請し地域資源の有効活用に努めている。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所と可能な限りの情報交換を行い連携しながらケアに取り組んでいるが、介護保険の適用に限界があり利用者負担が発生するので他サービスの利用は不可能に近いのが現状である。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1度の運営推進会議に参加していただき、様々な制度等の情報を提供できる場を設けているが、利用者に対しての直接的なサービスについては協働していない。	0	
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の個々の居宅療養管理指導書をホームドクターに提示していただき、利用者の最新の状況を家族に報告している。利用者の体調に応じ専門医を受診する際も医療関係者同士の連携を取ってもらい、家族にも職員にも情報が伝わるように対応している	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の進行による症状を見逃さず家族・職員・ホームドクターで話し合いの場を持ち、必要に応じて専門医受診を行っている。	0	
	47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回の往診（内科・歯科）を受け健康管理をしている。それぞれの担当看護師とは情報交換を密に行っており、体調不良の時等も対応してもらっている。また、地域の病院とも気軽に話が出来る関係が築けている。	0		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中は利用者とスタッフが書いた寄せ書きや励ましの手紙等を持って行くようにしている。協力医療機関の地域連携室と密に連絡を取り合い可能な限り情報の提供を求め、回復状況や退院後のケア計画の作成に役立っている。	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した利用者に関しては、職員・ホームドクター・家族で話し合いを重ね、本人にとって一番良い方法を検討し方針を決定している。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	夜勤の対応も含め、「できること、できないこと」についてはその都度職員全員で話し合いの機会を持ち検討している。その際、必ずホームドクターの意見も取り入れ、可能な限り話し合いの場に同席していただいている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	慣れ親しんだ苑から別の場所に移り住まなければならなくなった時は、本人はもちろん家族とも十分な話し合いを重ね、出来る限りの支援を行っている。退居後も手紙等を通して利用者のその後の状況を知る機会を作っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	1	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	1	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部 評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	基本的なことではあるが利用者の名前を「ちゃん」づけやニックネームで呼ばない事を徹底し、親しみの中にも年輩者に対する敬意の念を持ち、声かけをしている。記録・個人情報の取り扱いについても細心の注意を払っている。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の個々の思いや希望に常に心を配り、ひとりひとりに合わせた対応方法を職員で話し合いながら工夫し、支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の個性、生活における希望、個々のペースを大切にし、自己決定のもと日常生活を送れるよう支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出来るだけ本人の望む店へ行けるように家族にも協力を仰ぎ一部の利用者は行くことが出来ているが、ほとんどの利用者はADL等の事情で訪問美容に頼っている。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの決定・買い物・下ごしらえ・味付け・盛り付け・洗い物等の調理全般で、利用者の能力に合わせて職員と一緒に家庭的な雰囲気で行っている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者一人一人が抱えている慢性疾患等に配慮しながら、身体に害がない範囲での嗜好品の提供に努めている。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居時のアセスメントで排泄レベルを把握し、排泄パターンをつかみ、本人に合わせた時間毎の誘導等で気持ちの良い排泄を促すよう努めている。	0	
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯、曜日によって職員の配置人数に限界があるので、個々の希望通りにはなかなか対応できないのが現状であるが、入浴前に必ず利用者本人の意向を聞いて、バイタルチェックを行い、入浴剤等を用いて1人づつ、ゆっくり丁寧な入浴を心掛けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の睡眠状態等を把握し、時間あまり捉われることなく利用者個々の習慣や気分・体調等を考慮して対応しているが、昼夜逆転等にならぬよう生活リズムにも配慮している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部 評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が生活の中で楽しめるような「好きなこと」を探し、それを生かせるように時には外部のボランティアの方にも協力していただきながら張り合いのある生活が送れるよう支援している。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持に関しては、認知症の周辺症状による混乱や他利用者とのトラブルを防ぐためのも、入居時に本人・家族に金銭管理を職員がすることを承諾していただき、利用者の希望に添って品物を購入するようにしている。	0	
		63 外部 評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	目の前がスーパーマーケットという好立地条件を活用し食事の材料の買い物は日替わりで利用者と職員で出掛けたり、外出希望がある時はその都度希望に添えるよう努めている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域の資源、または受け入れ可能な場所には苑のイベントとして家族やボランティアにも参加を促し、協力して出掛けられるよう支援している。また、家族との外出は職員も大いに協力し支援している。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の大切な馴染みの関係が、施設入所により断たれることがないように電話や手紙は自由にやり取りができるよう支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	利用者の自宅である苑に来られる来客が気軽に来苑出来る様に温かく歓迎している。またその際はゆっくりと過ごしていただけるよう配慮している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	徹底的に職員に教育を行い、正しく理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	1	スピーチロックに関しては、職員用トイレに具体的な「注意すべき言葉や行動」を掲示し、各自の言動を見直せるようにしている。また、業務の中でも職員同士が注意しあえる関係性が築けている。	
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	終日施錠せずにケアしているが、玄関を出たらすぐにバス通りであるため、交通事故の危険性があり、帰宅願望が強い利用者の不穏時は施錠をすることもある。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	深夜以外に入室する際は必ず本人に声掛けすることを全職員で徹底し、プライバシーに配慮している。日中、居室で臥床される時は見守りや、転倒・転落の恐れがある方はセンサーを設置し、安全に配慮している。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	野菜の下ごしらえ等をして頂く際は先のとがっていない包丁を使用して頂いている。作業時にハサミ等を使用される場合は必ず職員が声掛け、見守りをしている。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	起こりうる事故を防止するために環境を整え、利用者のA D L状態を全職員が把握し事故防止に繋がる様努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員が順次救命講習に参加しており、知識を学んでいる。	0	
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の総合避難訓練には家族の参加もありスムーズに行えている。日頃から地域との関わりを大切にしており、近隣のスーパーには協力を要請している。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者が抱えているリスクを家族にも理解していただけるように説明している。現在、リスクマネジメントについて真剣に取り組んでおり、利用者に対して行動を阻止するような声かけをしない事を心掛けている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	利用者個々の平均的なバイタルを全職員が把握している。異変がある時は数字だけにこだわらず、その場にいる職員で判断し、必要時はホームドクターに指示を仰ぐように徹底している。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の疾患を理解しており、薬の量や種類の増減があった場合は、申し送りを徹底し、様子観察を行い変化があった場合はホームドクターへ報告している。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	消化の良い物、繊維質の多い食品を献立に取り入れるよう心掛けている。また、水分摂取量の少ない利用者に関しては、職員管理のもと一定量の水分を取れるよう配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	週1回の歯科の往診後、職員が申し送りを受け、歯科医指示のもと利用者個々に応じた口腔ケアを支援している。	0		
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に合わせ刻み食・ミキサー食・とろみ食等を提供している。糖尿病の方は本人に気付かれなように食分量やおやつを減らす等工夫して対応している。	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	入居時に感染症の有無を検査していただくようにしている。また、職員は感染源にならないように手洗い・消毒等を徹底している。	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は食材によって使い分けており、毎日塩素系の液で消毒している。調理担当の職員は利用者の排泄介助に関わらぬよう徹底し、手指消毒も必ず行うよう指導し、実行している。冷蔵庫に保存する物、また乾物類等開封したものは必ず日付を記入し食材の管理に努めている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに自転車等を置く時は傷害物にならないように配慮している。また、バス停があるため近隣の方が親しみやすいように季節の花を植えたプランターを置き、明るく安全な玄関周りの工夫に努めている。	0		
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングでは利用者が好む音楽をかけたり、照明も明るくなり過ぎないように採光との調和を取っている。また、季節ごとの生け花、飾り物を配置し、心地の良い空間づくりを心掛けている。トイレで発生する臭いには全職員が気を配り、消臭スプレーを使用している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者が思い思いにくつろげるようにリビングには所々にソファを配置し、その場が閑談の場になったり、一休みする場所になったりしている。また、1人で過ごすことを好む利用者は職員がそっと様子を観察したりと工夫している。	0		
		85 外部評価33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者が慣れ親しんだ物を持って来ていただくよう家族にお願いしている。また、認知症の症状によっては、混乱を招かぬよう物の配置を工夫している。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングには湿・温時計を設置しており、乾燥する季節には加湿器や加湿用の濡れタオルを利用し空調管理を行っている。また、居室には温度計を設置し、過ごしやすい温度管理と換気を随時行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が使用する福祉用具その他は、個々に適したものを提供出来るよう専門家と相談しながら選んでいる。苑内の設備に関しても利用者のADLに合わせた物を使用するように心掛けている。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者のレベルに応じた家事や作業を職員が間接的に援助し、失敗などにより混乱が生じた時は利用者の心に寄り添い、本人の残存機能を損なわぬように工夫している。	0		
89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭やベランダがないので、玄関周りに置いているプランターの水やり、バス停周辺の掃除等を利用者と職員が一緒に行っている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。